

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

津波なんかにや負けないぞ!!

■復興支援チーム5次隊

4月15日～4月22日

災害復興支援チームの第5次隊の一員として、被災地である大船渡市へ派遣されました。

任務に当たりながら、被災者の方々のお話を伺い、その凄惨さに心を痛めました。

目を覆いたくなるような光景を前にしても、元気に笑う被災者の方々を見て、私たちも彼らのためにできることを一生懸命頑張りたいと思いました。

救仁郷 諭

■復興支援チーム6次隊

4月21日～4月28日

「さまざまな地域から多くの方が、私達を支援し応援してくれる。いつまでも下を向いてるんじゃなくて、顔をあげ前に進まなきゃね」と力強く話していた地元のボランティアの方の言葉が、今回の派遣で一番心に残りました。また、この言葉を象徴するかのように黄水仙の黄色い花びらが、大船渡市内の川の土手や民家の花壇、津波被害地域の瓦礫の中など、あらゆる場所でたくましく咲いていました。その姿は、震災から一か月が過ぎ、もう一度自分達の故郷を取り戻そうと、一步一步前進している人たちを象徴するものでした。

被災地の一日も早い復興を願うとともに、「前に進もう」という気持ちや想いを、多くの方に伝えていければと思います。

山下 琢磨



▲立根小学校に次々と運び込まれる支援物資



▲支援物資を搬入する職員



▲たくましく咲き誇る黄水仙



“希望”

大船渡市立第一中学校新聞

左の新聞は、震災の一週間後に地元の中学生在が手作りした新聞です。

この学校は比較的被害の少ない地区にありますが、学校が再開できず春休みが一月延長になったことから、「被災地域の人々のために何かしたい」と発案し作成したものだそうです。

中学生は、グループを作り、複数ある避難所や支援物資保管所、自衛隊の行っている炊き出しなどにも手伝いに来ていました。

紙面の最後は、「これからの地域をつくっていくのは私たち」と綴られており、この中学生の自主的な活動に、地域の方々は励まされました。